報道関係者各位　　2017 年 7 月吉日

集い、繋がり、交流し、さらなるオーガニックワールドを創造する
第 2 回「オーガニックライフスタイル EXPO」開催

昨年の 1.7 倍に展示面積の規模が拡大する第 2 回『オーガニックライフスタイル EXPO』は、7 月 29 日（土）・30 日（日）に、東京・有楽町の東京国際フォーラム ホール E 全館を使い開催いたします。28 日（金）には、ガラス棟会議室においてオーガニックバイヤーズミーティング及び展示ホールでは 2 時間限定の商談会を、さらに D7 ホールではオーガニックシンポジウムを開催いたします。2017 年の展示会出展者は 246 小間 175 社を記録いたしました。日本でもオーガニックが本格的に広がろうとしています。

一般社団法人オーガニックフォーラムジャパンが主催し、一般社団法人フードトラストプロジェクト、ロハスワールド、GON（グローバルオーガニックネットワーク）が共催いたします第 2 回『オーガニックライフスタイル EXPO』は、基本コンセプトならびにメインテーマを IFOAM（国際有機農業運動連盟）が提唱する**《オーガニック 3.0》*の推進**とし、サブテーマを国連が提唱する《**持続可能な開発目標 SDGｓ》**の実現**をめざして展開いたします。　　*/**：詳しくは最終頁をご参照ください

「オーガニック」をキーワードに心と体に心地よいライフスタイルを提案し、「衣・食・住」 の生活全体を対象にする『オーガニックライフスタイル EXPO』は、オーガニックの裾野を広げ、関心を呼び起こし、生活に根付かせ、購入につなげるために、ビジネスに一般消費者を巻き込むＢtoＢtoＣの「販売可能」な展示会です。展示品目は食品からコスメ、繊維製品、雑貨、さらには住宅まで非常に広範で、EXPO ならではのユニークな出展カテゴリー表示で分類しています。

味（ajiwau）から、育 （hagukumu）、纏（matou）、磨（migaku）、癒（iyasu）、暮（kurasu）、守（mamoru）、活（ikasu）、 学（manabu）がカテゴリー項目ですが、今年の各カテゴリー別出展者数を挙げてみると、「味：食品」67 社* (+SHARE THE LOVE in Japan の農業者 10 名）、「磨：コスメ」26 社、「纏：繊維製品」11 社*、「暮」27 社、「学」 4 社（+メディアブース 12 社） 「癒」 4 社 、「 育 」 11 社 、「 守 」 1 社 、「 活 」 2 社 、 と な っ て い ま す 。

*食品は「暮」、 繊維製品は「暮」や「癒」でも展示

『オーガニックライフスタイル EXPO』では、ビジネスと一般消費者双方にオーガニックライフスタイルの新しい切り口を提起するために、主催者テーマゾーンが企画されています。今年は賛同企業の支援も得ながら、下記のテーマにフォーカスいたします：

- 就農 10 年未満あるいは中山間地で 2 町歩未満、さらには第 2 の人生で有機農業に取り組んでいる就農者のための**《新規就農者応援ゾーン》**には全国から出展者が集まりました。
- 家畜のストレスをできる限り少なくした健康的な飼育方法による畜産を実践する**《アニマルウェルフェアゾーン》**。オリパラ 2020 での注目されていることから**第 1 回アニマルウェルフェアサミット**を 30 日セミナールームで開催します。
- 昨年のテーマ「Seed Exchange/種の交換会」を派生拡大した、ベランダやレンタル農園から有機農業にトライしてもらうための**《Kitchengarden/家庭菜園ゾーン》**には恵泉女学園の生徒さんも参加します。
- オーガニックをけん引するのは何と言っても女性です！**《ETHICAL COSME エシカルコスメゾーン》**と**《ETHICAL FASHION エシカルガッションゾーン》**には、環境・自然保全意識の高い女性の期待にこたえる両分野のブランドが勢ぞろいします。

28 日のオーガニックバイヤーズミーティング&商談会では、ビジネスを主軸にオリパラ食材調達情報も含め、生鮮、コスメ、フェアトレード関連バイヤー向け専門セミナーを限定開催いたします。セミナー参加登録者はすでに 500 名を超えています（26 日現在）。展示会場の準備が整ったところで、18：00 から 20：00 まで、プレスやバイヤーの方々をお招きして内覧・商談会を実施いたします。

オーガニックを次世代につなぐことも『オーガニックライフスタイル EXPO』の大切な使命と心得ています。日曜日の 30 日は、『ぼくのわたしの食べ物の絵コンテスト』のキッズアワード表彰式からメインステージが始まります。応募作品はすべて、会場のあちこちに貼り出されています。

また、一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会（APSP）学生部との合同開催イベント《ネクストオーガニックリーダーズミーティング》も催行します。様々なバックグラウンドをもつ若年たちが、多様な観点からオーガニックについて考え、オーガニックを普及させていくための提言（プレゼン/ステージ発表）を行います。若者たちにどうオーガニックが受け継がれていくのか、その一端を垣間見ることのできる場となります。

次回の第 3 回『オーガニックライフスタイル EXPO』は、2018 年 4 月 14 日（土）・15 日（日）に東京国際フォーラムで開催（予定）されます。

【展示会概要】

名　称：第 2 回 Organic Forum Japan～オーガニックラフスタイル EXPO ～Summer

会　期：2017 年 7 月 28 日（金）、29 日（土）、30 日（日）

■ 28 日（金）オーガニックバイヤーズミーティング/ガラス棟

（入場料 無料/ 業界関係者　※ 要事前登録）

■ 28 日（金）オーガニックフォーラムシンポジウム（仮称）/ D7 ホール

（入場料 1,000 円（税込）/ 業界関係者・一般　※ 招待状持参 / 事前登録無料）

■ 29 日（土）・30 日（日）EXPO 展示販売商談会 時間 10:00～17:00 展示ホール E

（入場料 1,000 円（税込）/ 業界関係者・一般　※ 招待状持参 / 事前登録無料）

後　援：農林水産省、木更津市（予定）、環境省

特別協賛：㈱ローソン、らでぃっしゅぼーや㈱、Radix の会、農林中央金庫、イーサポートリンク㈱、
SHARE THE LOVE for JAPAN、 ㈱アバンティ、パタゴニア日本支社、東都生活協同組合、
㈱大地を守る会、㈱花ごころ、安心農業㈱、一般社団法人 日本有機農業普及協会

協　賛：IFOAM JAPAN、NPO 法人オーガニック協会、 NPO 法人オーガニック事業協会、
一般社団法人エシカル協会、一般社団法人エシカルビューティ協会、
農事組合法人さんぶ野菜ネットワーク、一般社団法人 SEEDS OF LIFE、
一般社団法人 日本オーガニックコスメ協会、特定非営利活動法人 日本オーガニックコットン協会、
特定非営利活動法人 日本オーガニックコットン流通機構、特定非営利活動法人 日本有機農業研究会、
NPO 法人 有機農業参入促進協議会、次代の農と食を創る会、（株）アファス認証センター、
オーガニック・テキスタイル世界基準（GOTS）、（株）Control Union Japan、
日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会（JONA）、（有）リーファース、
オーガニック・エコ農と食のネットワーク（NOAF）、有機農業の日委員会、
（株）ロハスインターナショナル、（株）オーガニッククルー、一般財団法人 日本 GAP 協会、
一般社団法人ハラル・ジャパン協会、一般社団法人 日本オーガニック検査員協会、正食協会、
NPO 法人 生物多様性農業支援センター、一般社団法人 日本農林規格協会、
一般社団法人 日本ガーデンセラピー協会、NPO 法人 全国有機農業推進協議会、
特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン、㈱エクステリア風雅舎、
学校法人恵泉女子学園大学、Mom's Lab、 ハイシ―クリエーション、㈱Woo-By.Style、
一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会、オーガニック・エコ・フェスタ in 徳島実行委員会

協　力： オーガニック生活便（㈱アイシス）、ORGANIC PRESS、 ORGANIC VISION
（一般社団法人オーガニックヴィレッジジャパン（OVJ））、月刊クーヨン（㈱クレヨンハウス）、
GON（グローバルオーガニックネットワーク）、grassroots（CREAM INC）、

Japan Today/Savvy Tokyo（㈱ジープラスメディア）、自然と農業（木香書房）、
ダイヤモンド・チェーンストア（㈱ダイヤモンド・リテイルメディア）、
ベジタリアンマガジン veggy（キラジェンヌ㈱）、野菜だより（㈱学研プラス）、EARTH JOURNAL
（(㈱アクセスインターナショナル）、ヘルスライフビジネス（㈱ヘルスビジネスマガジン社）、
農業ビジネスマガジン（イカロス出版（株））、Fragments（(株）Will Be There）、
えつらく（㈱新選堂）、beaute d'Or（Myuty-Chic㈱）、aromatopia（フレグランスジャーナル社）、
うかたま（(一社）農山漁村文化協会）、DIME（小学館）、オルタナ（㈱オルタナ）、セラピスト
（㈱BAB ジャパン）、日本食糧新聞（㈱日本食糧新聞社）、
㈲リボーン（エコツーリズム・ネットワーク）

同時開催：第２回キッズアワード「ぼくとわたしの食べ物の絵コンテスト」、チェアヨガ、基調講演シンポジウム・各種セミナーワークショップ、各種専門＆認証講座他シンポジウム・各種セミナーワークショップ他

【主催者概要】
組織名：一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン
会長 徳江 倫明
代表理事 秋元 一宏
所在地：東京都中央区八丁堀 2 丁目 22 番 8 号 7F（一社）FTP 内
ＴＥＬ：03-3523-0028 ＦＡＸ：03-3523-0861
E-Mail：info@ofj.or.jp
公式 URL：https://ofj.or.jp

【参考】

オーガニック 3.0/IFOAM（国際有機農業運動連盟）

1970 年代、有機農業の先駆者たちが動き始めた「オーガニック 1.0」から 1990 年以降、グローバルな規格・基準、認証制度の普及による有機市場の規模拡大を目指した「オーガニック 2.0」を経て、「オーガニック 3.0」は次の時代を見据えて、「2.0」で取りこぼしてきたものは何かを掬い上げ、オーガニック認証を取得した一定規模以上の農家だけでなく、中山間地の小規模農家、消費者に直接つながる提携やローカルを足場にする家族経営農家、さらには有機農業の枠を超えて貧困や飢餓、天然資源の枯渇、地球温暖化や生物多様性の保全といった環境・持続可能性までを、オーガニックに携わる者共通の目標とするもの。

これはサブテーマの SDG s につながる。

SDG s （Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標）/国連

2030 年に向け、持続可能な社会を実現するための開発目標で、世界中で取り組みが始まっている。「誰も置き去りにしない」と宣言された「2030 アジェンダ」には、地球規模の優先課題として下記の 17 目標が挙げられている：

1　貧困をなくそう
2　飢餓をゼロに
3　すべての人に健康と福祉を
4　質の高い教育をみんなに
5　ジェンダー平等の実現
6　安全な水とトイレを世界中に
7　エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
8　働きがいも経済成長も
9　産業と技術革新の基盤を作ろう
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられる街づくり
12 作る責任、使う責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさもまもろう
16 平和と公正をすべての人に
17 パートナーシップで目標を達成しよう